

新時代を
切り開く
東京

変化に強い人材が溢れる
社会を目指して

目次

理事長あいさつ	03
副理事長・専務理事あいさつ	04
2020 JCI TOKYO AWARD	05
コロナ禍でのJC運動	06
例会報告	07
室報告	19
委員会	20
JCI日本諸会議・大会報告	38
JCI諸会議・大会報告	

理事長あいさつ

2020年、一体だれがこの様な社会に変化をすると予測出来たでしょうか。新型コロナウイルス感染症という未知なるウイルスの影響によって、我々が住み暮らす東京はもちろん、日本国さらには世界中で、これまでの生活様式さえ覆るほどの変化が生まれ、今なお様々な対応が行われています。

しかし、その様な状況下においてもJCI東京メンバーは行動を止めることなく、今の社会・地域に必要な活動を率先して行ってくれました。そして我々の活動に共感を得て頂いた様々な方々、新たな協力団体や各種企業様と共に、実に多くの運動を実施し発信をすることが出来ました。賛同をいただき、私たちの運動にご協力いただいた全ての皆様に改めて御礼を申し上げます。

私は年初に、「新時代を切り開く東京」～変化に強い人財が溢れる社会を目指して～と、2020年度のJCI東京の運動の方向性を掲げさせていただきました。私自身、ここまで社会が変化するとは予想しておりませんでした。このスローガンを掲げた意図は、時代の変化とともに各分野で起こる社会課題に対して、どの様な問題・事象が起きたとしても他人事することなく、その課題に向き合い各個人のビジョンを持って行動するという意識変革に重きを置きました。しかし残念ながら、昨年末より準備をしていた事業や推進運動は計画通り実施できないものも多くありました。さらに本年開催が予定されていた東京2020オリンピック競技大会についても来年に延期になるなど、これまで経験をしたことが無いくらい、私たちが当たり前の様に行ってきた全ての行動に制限がかかったのです。

JC活動とは、JCとは何か、これまで当たり前の行動、スケジュールで活動をして来た私自身を含め、多くのメンバーが悩んだと思います。しかし、社会課題やおかれ

ている環境は違えど、戦後焼け野原であった1949年9月3日この私たちが住み暮らす首都東京の地で、新日本の再建は我々青年の仕事である。と、48人の青年が強い志を抱き、東京青年会議所は設立されたのです。私たちはこの様な時こそ、これまでの経験とネットワークを駆使し、今社会に必要な行動をとるべき団体であるのです。まさに本年は、新型コロナウイルス感染症に対して、いかに感染リスクを抑えられるか、そして今後どのように共存して行くかについて、他人事では無く、我が事として捉え、個人のそして組織の方向性、対応を議論出来た年でもありました。

誰もが経験をしたことのない状況の中、各分野において、計画をした事業とは規模や手法は違えど、実に柔軟な発想で様々な多くの取り組みを実施することが出来ました。実施をした詳細な活動内容、成果については、各委員会の報告をご覧ください。と存じます。

そして本年の大きな成果として、JCI東京の中長期ビジョンを作成する事が出来ました。青年会議所は、単年度制であり、明るい豊かな社会の実現という私たちの理念は変わる事はありませんが、時々々の理事長によって運動の方向性は様々です。今後どのように社会が変化をしてゆくかは明確ではないですが、私たちが目指すビジョンを作成しJCI東京としての運動の方向性をメンバーが理解し、そして社会へ対して連続性を持った運動を展開し発信してゆければと思います。JCI東京の中長期ビジョンは、これまでの物質的、経済的な量から捉える豊かさではなく、各個人の幸福や文化的・精神的な心の豊かさ、そして全ての市民が持続的に幸せを共有してゆくことができる社会、質を追求した個々の豊かさへと意識変革してゆくことが重要とし策定いたしました。JCI東京は、持続可能な幸福中心社会の創造を中長期ビジョンとして掲げ行動して参ります。このビジョンはメンバーや市民の行動を制限するようなものではないです。そして、変化の激しい



公益社団法人 東京青年会議所
第71代理事長

伊澤 英太

現代社会において、このビジョンを社会情勢に合わせて柔軟にアップデートし、未来を構想してゆくことで、新たな世界を東京から示してゆくことができるもの信じております。

この1年間、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく社会は変化をしましたが、同時に青年会議所運動の本質をあらためて見直すきっかけになったのだろうと自負します。

私たちは青年経済人であり、今後の未来を他人事とすることなく、様々な分野において各個人がビジョンを持ち、より良い社会を構築してゆく行動を続けてゆくことが必要なのです。社会は日々目まぐるしい速度で変化を続けております。東京青年会議所が設立された当時には予測もつかなかった様々な要因から、これまでの常識も通用しない新たな時代に変化しているのです。いつの時代も、私たちだからこそできる運動とは、活動とはなんなのかを考え、議論し、青年らしく失敗する事を恐れずに、明るい豊かな社会の実現に向け挑戦してゆきます。ぜひ、私たちの組織へご理解をいただき、ますますのお力添えを賜われますよう、心からのお願いを申し上げます。

副理事長・専務理事あいさつ

「未来を切り開くビジョンと人財の創造」の基本方針のもと、中長期ビジョンの策定と人財育成を行って参りました。

中長期ビジョン策定特別会議は、1月例会を主管し、外部講師を招き共にビジョン策定を行い、第8回理事会において満場一致にて審議可決いたしました。また9月例会を主管し、中長期ビジョンへの理解を深め、賛同者を得る行動を行って参りました。スタートアップアカデミー特別委員会は、事業構築セミナー等を開催し、青年会議所の理念などをメンバーに

伝え、拡充を行いました。またガイダンスセミナーを開催。Webを活用し同期会結成式も行い新しい形を模索し挑戦を続けました。

2020年度の運動にご賛同賜りましたすべての皆様に感謝を申し上げるとともに、今後も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

副理事長 外口 真大



「新時代を切り開く政策推進運動」の基本方針のもと、経済政策室、政治行政政策室及び教育政策室を担当し、政策の立案、実行を行ってまいりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、運動自体の中止や変更があった激動の一年でしたが、経済政策室では「技術革新で新たな価値を創造する経済政策」を目標に2月例会と推進運動を行いました。政治行政政策室では「市民一人ひとりが自ら考え選択できる政治行政」を目標に10月第一

例会、推進運動及び各種討論会を開催いたしました。教育政策室では、「変化に強い人財を育成するための教育システムの構築」を目標に推進運動を行ってまいりました。運動にご賛同賜りました皆様に感謝を申し上げます。

副理事長 石川 幾生



「新時代を切り開く新たな「社会連携」の構築」を基本方針として、組織力向上室、渉外連携室及びブランディング特別委員会を担当させていただきました。組織力向上室では、スタッフ会に参加し一緒に問題抽出を行い、Webを活用した拡大セミナーの開催では、より入会候補者に寄り添ったセミナー開催を行いました。わんぱく相撲全国大会は未開催となりましたが、2021年以降の開催が円滑に行える準備をまいりました。渉外連携室では渉外活動を通じて本当に連携をとるべき団体や協力者、海外LOMを巻き込むことで、東京青年会議所の社会的認知度の向上を行いました。ブランディング特別委員会では、Youtubeでの

教育コンテンツをメンバー向けに配信し、各委員会における関連な発信を促す発信アワードの新設をいたしました。8月例会においては今後増えていく配信型例会における事後配信の有用性を明確にし、推進事業ではTBSラジオを手法として平均視聴132000人（ビデオリサーチ社調査）に3ヶ月にわたる情報発信を行いました。2020年度の運動、運営にご賛同いただき、変化を楽しんで運動をしていただきましたすべてのメンバーに感謝申し上げます。

副理事長 久保田 悠介



2020年度レガシーグループは、『社会にポジティブな変化を起こす「東京JCレガシー」の創造』の基本方針のもと、運動を展開いたしました。東京JC2020特別委員会では、コロナ禍における課題や情報を各国大使館と共有し、次年度以降に繋がる持続的な国際交流関係を築く行動を起こしました。そして、国際政策室では、国際社会で活躍できるグローバル人財の育成を目指し、大学と協働したグローバル人財育成プログラムを実施することができました。ま

た、共生社会政策室では、障害者雇用における課題に着目した推進運動を実施し、持続的な共生社会の実現に向け運動を展開してまいりました。

ご支援ご協力をいただいた皆様、誠にありがとうございました。

副理事長 諸田 徳太郎



本年は、新型コロナウイルス感染症と戦い続けた1年でした。多くのメンバーが運動の歩みを止める中、JC活動を行うか行わないかの判断はそれぞれでしたし、どの判断にも間違いは無いと思います。一方、こんな年だからこそ普段見ることのない、JC1東京の可能性も見ることができました。

生活自体を脅かす社会課題に対し、「このような時だからこそ行動を起こすべきだ」と立ち上がったメンバーが多く存

在したことです。また、1年前から積み上げてきた事業計画が実行できなくなる中、日時、形式、内容を変えながら公益事業を展開していく姿は、まさに「変化に強い人財」であったと思います。これらの貴重な経験をもとに、新たな世界を創り上げていって下さい。

一年間ありがとうございました。

専務理事 諸喜田 智



2020 JCI TOKYO AWARD



1年間の活動を讃える褒賞につきまして、例年すべての褒賞を12月例会当日に発表させていただいておりましたが、本年、新型コロナウイルスの影響により当日参加が叶わない方に対しても褒賞させていただきたく、また、より多くの会員の皆様へ褒賞に資する方を知っていただきたいという想いを込めて、12月例会当日と動画による事前発表という2つの手法に分けて褒賞を行いました。

事前発表動画はこちら



最優秀東京 JC 賞 財務室

優秀東京 JC 賞

- 地区委員会部門 荒川区委員会
- 政策系委員会部門 東京JC2020特別委員会
- 会務系委員会部門 拡大支援委員会
- 政策系室部門 教育政策室
- 会務系室部門 財務室

優秀事業賞

- 例会・全体事業賞 10月第2例会
「企業×JCI東京」～繋げて起こせよムーブメント～
- 推進事業賞 共生社会政策推進運動
共生社会を目指して～ Special Works Matching～
- 地区事業賞 品川区委員会地区事業
KIDS GYMNASTICS 2020～バランスチャレンジ選手権～

優秀会員拡大賞

- 拡大数部門 新宿区委員会
- 拡大率部門 杉並区委員会

優秀広報大賞

- 新宿区委員会

優秀活動賞

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 金子 春菜 (東京JC2020特別委員会) | 三村 幸平 (板橋区委員会) |
| 河野 翔太 (国際政策委員会) | 島田 健一 (政治行政政策委員会) |
| 有村 尚樹 (新宿区委員会) | 小野 武蔵 (千代田区委員会) |
| 清水 紘武 (新宿区委員会) | 金子 亮平 (台東区委員会) |
| 平山 勉 (品川区委員会) | 松崎 絵里子 (豊島区委員会) |
| 前田 亮 (品川区委員会) | 内海 真樹 (江戸川区委員会) |
| 高澤 啓資 (世田谷区委員会) | 菅原 利成 (教育政策委員会) |
| 高須 英和 (中野区委員会) | 福井 竜太 (大田区委員会) |
| 戸塚 利治 (共生社会政策委員会) | 森屋 洋一 (杉並区委員会) |
| 戸井 崇人 (港区委員会) | 横山 輝政 (練馬区委員会) |
| 長田 祐美 (文京区委員会) | 望月 良孝 (葛飾区委員会) |
| 福地 大亮 (江東区委員会) | 牧野 考将 (拡大支援委員会) |
| 山崎 和香 (北区委員会) | 木戸浦 真人 (JCI・日本JC連携委員会) |
| 井上 吏子 (経済政策委員会) | 白倉 孝純 (総務委員会) |
| 北原 沙友里 (墨田区委員会) | 小野田 真吾 (例会運営委員会) |
| 伊奈 亜有美 (渋谷区委員会) | 矢後 真由美 (財務運営委員会) |
| 原 彩子 (荒川区委員会) | |

優秀新人賞

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 田角 龍 (新宿区委員会) | 菅原 利成 (板橋区委員会) |
| 長島 史明 (新宿区委員会) | 齊藤 広幸 (板橋区委員会) |
| 谷 洋昌 (品川区委員会) | 額賀 逸朗 (千代田区委員会) |
| 糸井 健太 (品川区委員会) | 川崎 比紗子 (台東区委員会) |
| 壹岐 寅彦 (世田谷区委員会) | 田中 久登 (豊島区委員会) |
| 前田 地生 (中野区委員会) | 内田 裕之 (教育政策委員会) |
| 外川 隆司 (中央区委員会) | 指田 剛直 (大田区委員会) |
| 大川 綾香 (港区委員会) | 片岡 裕 (杉並区委員会) |
| 竹田 隼 (江東区委員会) | 松田 有司 (練馬区委員会) |
| 本間 雅也 (北区委員会) | 城山 貴浩 (葛飾区委員会) |
| 森田 悟志 (経済政策委員会) | 小金 隆二 (拡大支援委員会) |
| 当 博貴 (墨田区委員会) | 江口 大三郎 (わんぱく相撲委員会) |
| 當田 絢子 (渋谷区委員会) | 細谷 誠 (渉外委員会) |
| 今吉 邦夫 (渋谷区委員会) | 熊谷 研一郎 (JCI・日本JC連携委員会) |
| 飯田 紗織 (荒川区委員会) | 朝吹 英介 (例会運営委員会) |

皆出席賞

- 小林 幸輝 (東京JC2020特別委員会)
- 丸山 力三 (東京JC2020特別委員会)
- 宮坂 恵利子 (東京JC2020特別委員会)
- 田島 慎太郎 (江東区委員会)
- 原 彩子 (荒川区委員会)
- 島田 健一 (政治行政政策委員会)
- 松浦 伸明 (千代田区委員会)
- 庄司 剛英 (拡大支援委員会)
- 山内 圭輔 (財務運営委員会)

MVP 特別賞

- 島田 健一 (政治行政政策委員会)

特別功労賞

- 石川 和孝 伊澤 英太 塩澤 正徳

功労賞

- 諸喜田 智 堀口 泰佑 川崎 精人 塚田 耕太郎

優秀出向者賞

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 新井 一功 (JCブランド確立会議) | - 関東地区協議会 - |
| 平山 勉 (報道戦略委員会) | 宮崎 貴博 (世界会議支援委員会) |
| 青見 文博 (国際ビジネス推進会議) | - 東京ブロック協議会 - |
| 高梨 拓 (SDGs 推進会議 副議長) | 長島 史明 (アカデミー研修委員会) |
| 小松 大輔 (地域ビジョン確立委員会) | |
| 渡邊 芳樹 (アジアアライアンス構築委員会) | |

コロナ禍での JC 運動

2020年1月16日に日本初の感染者が確認されて以降、感染拡大は避けられず、4月7日には埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県の7都府県に対して5月6日までの緊急事態宣言が発令されました。緊急事態宣言に先駆け、東京青年会議所でも4月1日に伊澤理事長より今後の行動方針について説明があり、新型コロナウイルス感染拡大という

状況の中での運動がスタートいたしました。

わんぱく相撲各種大会の中止など多くの事業が開催できない中で、各室、委員会がこの状況下で「何ができるか?」「何をすべきか?」を考え、新たに運動構築を行いました。それに伴い、事業構築フローなどを柔軟に変更し、スピーディーな決断・行動が行えるよう運営面を整えました。

運動に関して

新型コロナウイルス特設サイトの開設

コロナ禍での委員会での取り組み（アクション）に加え、所属メンバーの取り組み（チャレンジ）の掲載を行い、JCI 東京の運動を広く社会に広めました。



Tokyo Take Out

飲食店の時短営業やテイクアウト要請の高まりを受け、JCI 東京の飲食店を運営しているメンバー情報ページを作成いたしました。



大江戸花火2020

様々なイベント中止を受け、東京都・東京商工会議所・東京青年会議所後援のもと築地市場跡地にて1800発の花火の打ち上げを行いました。無観客開催のため、TOKYO MX アプリ「エムキャス」でのライブ配信とアーカイブ視聴としました。



東京 J C ラジオ

「東京 J C ラジオ」は2020年7月から3ヶ月間、TBS ラジオにて毎週土曜午後9時45分～15分間放送されました。パーソナリティーはフリーアナウンサーの吉田明世さんです。毎週1組ずつゲストを迎え、東京を取り巻く社会課題やその解決方法についてお話しいただき、東京 J C ビジョンと運動を発信いたしました。



運営に関して

理事会・委員会運営に関して

新型コロナウイルス感染拡大を受け、多くの会議がオンラインとオフラインのハイブリット開催となりました。また、2021年度理事立候補者選挙や総会など様々な運営に関する事業に関しても ZOOM などを活

用し行ってまいりました。第145回総会では理事及び監事専任に関する規則について、電子投票を可能とする変更が決議されました。



ZOOM での GM（ガイダンスメンバーセミナーの実施）

新型コロナウイルス感染拡大を受け、新入会員向けのガイダンスメンバーセミナー（GM セミナー）も見直しを迫られました。結果として、2020年度の GM セミナーは、3月・9月・11月は会場でのオフライン開催と Zoom でのオンライン開催とのハイブリッド形式、緊急事態宣言明け間もない6月はオンラインのみでの開催としました。

Zoom の「ブレイクアウトルーム」を活用したグループワークでは、オフライン・オンライン問わず参加者全員に共通の検討課題を提示し、オフライン参加者

は対面でのグループ討議、オンライン参加者は4～5名程度のブレイクアウトルームに分かれて Web ミーティングを実施し、グループ毎に結果を報告して共有する、というワークを実施しました。全てが手探りの中で実施してきた2020年度の GM セミナーですが、このような情勢の中でも途絶えることなくセミナーを開催し、多くの新入会員を送り出すことができました。制約の多い情勢の中で入会した2020年度入会のメンバーは、これまでの固定概念に囚われることなく、自由な発想で運動を展開してくれることでしょう。



2020年度例会報告

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大により、3月例会は初めての完全オンライン例会の実施となりました。また、4月・5月例会の中止やオンライン例会での開催になるなど、例会の開催方法が大きく変わった1年でした。

例会一覧

1月
例会

新時代を切り開く東京

～変化に強い人材が溢れる社会を目指して～

- 中長期ビジョン策定特別会議
- 東京ドームホテルにて開催

7月
例会

FriendShipTOKYO in the
New Normal

～東京の挑戦～

- 東京JC2020特別委員会
- オンライン開催

2月
例会

中小企業よ、新たな時代を
切り開け！

～イノベーション最前線～

- 経済政策委員会
- 有楽町朝日ホールにて開催

8月
例会

言葉の力で新時代を切り開け

- ブランディング特別委員会
- オンライン開催

3月
例会

新たなる共生社会の実現

～Special Works Matching～

- 共生社会政策委員会
- オンライン開催

9月
例会

未来は僕たちの中にある

～You can create the world～

- 中長期ビジョン策定特別会議
- 会場とオンラインのハイブリット開催

4月
例会

君の声で世の中が変わる！

- 政治行政政策委員会
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。
- ※ 10月第一例会にて開催

10月
第1例会

君の声で世の中が変わる！

- 政治行政政策委員会
- オンライン開催

10月
第2例会

「企業×JCI東京」

～繋げて起こせよムーブメント～

- 財務運営委員会
- 会場とオンラインのハイブリット開催

5月
例会

家庭・地域・学校で育む
子どもの自己肯定感

～褒めるだけじゃダメ？愛が伝わる子どもへの接し方～

- 教育政策委員会
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

11月
例会

「自己主張」出来る人財を作る

- 国際政策委員会
- ZOOM セミナーを利用した開催

6月
例会

「自律」した人財とは何か？

～改めて考える体・技・心～

- スタートアップアカデミー特別委員会
- オンライン開催

12月
例会

新時代を切り開く東京

～変化に強い人材が溢れる社会を目指して～

- 例会運営委員会
- 十分な感染症対策を行った上で、
椿山荘にて開催

1月例会



新時代を切り開く東京

～変化に強い人材が溢れる社会を目指して～

1月例会は東京ドームホテルにて、「新時代を切り開く東京～変化に強い人材が溢れる社会を目指して～」と題しまして、新年賀詞交歓会が開催されました。例会では、歴代理事長が見守る中、第71代理事長伊澤英太君へプレジデンシャルリースが伝達され、伊澤理事長より今年度の所信表明がされました。また第1部では小池百合子都知事をはじめとして、東京商工会議所 大島博副会頭、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区協議会会長 大崎厚郎君より、祝辞を頂戴しました。基調講演ではブランド戦略コンサルタントの江上隆夫氏よりビジョンをテーマにご講演いただき、ビジョンを持つことの必要性について考える機会となりました。第2部の賀詞交歓会では、会員会議所メンバー、シニア、関係団体との親睦を深めるとともに、2020年度の新理事・委員長、派遣役員が紹介されまし

た。「新時代を切り開く東京～変化に強い人材が溢れる社会を目指して～」が開催されました。例会では、歴代理事長が見守る中、第71代理事長伊澤英太君へプレジデンシャルリースが伝達され、伊澤理事長より今年度の所信表明がされました。また第1部では小池百合子都知事をはじめとして、東京商工会議所 大島博副会頭、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区協議会会長 大崎厚郎君より、祝辞を頂戴しました。基調講演ではブランド戦略コンサルタントの江上隆夫氏よりビジョンをテーマにご講演いただき、ビジョンを持つことの必要性について考える機会となりました。第2部の賀詞交歓会では、会員会議所メンバー、シニア、関係団体との親睦を深めるとともに、2020年度の新理事・委員長、派遣役員が紹介されました。





2月例会

中小企業よ、新たな時代を切り開け!

～イノベーション最前線～

公益社団法人東京青年会議所

2020年 2月17日(月)

僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。

1 若者の育成方法

日本育ち 海外経験ナシ

50代 異田をなくそう

18才 バングラデシュへ 妻体みにアルバイト

自分もこんな ビジネスがしたい

グラミンバンク

3万円を融資します! 1年後にかえしてね!

1日の売り上げが5倍に マイクロファイナンスビジネス

先生の指導 ヤギをかかって、 ミルクを売らなさい

2 ミドリムシの魅力

バングラデシュの子供

①小柄 ②元気がない

10億人が苦しむ栄養失調

SOLUTION

ミドリムシを届けたい

梅干10コのビタミンA
牛のレバー50gのビタミンB12
イワシ1匹の脂肪酸
うなぎ蒲焼1枚のDHA
アサリ50gの亜鉛

ミドリムシ1g = 59種類の栄養素

サイエンスの力で地球から 栄養失調を根絶!

3 イノベーションを起こすには

501社目 2008年 独占販売

サイエンス × 繰り返し努力

次世代リーダーに 継承すべきこと

①メンター ②アンカー

奇跡とイノベーション は起こすことができる!



株式会社ユーグレナ 代表取締役社長 出雲 充様



出雲 充様 株式会社ユーグレナ 代表取締役社長



福井 泰代様 株式会社ナビット 代表取締役



河村 哲様 レキオパワーテクノロジー株式会社 代表取締役/CEO



中村 亜由子様 eiicon company代表/founder

イノベーションに対する取り組みをしていますか?

「ミドリムシ」 「のりかえ便利マップ」 「お腹ソムリエ」

一次産業 × テクノロジー

イノベーションの概念を理解していますか?

サイエンス × 繰り返しの努力

CHANGE

いやだと思ったら そこにビジネスチャンスがある

生き残るためには まっていくパーツ

その人や企業が 決めていけばいい概念

イノベーションの阻害要因とそれらの克服方法

リーダー、人材の多様性

皆で工夫し、学び続ける

不足との闘いの繰り返し

GOAL

なんのために なにをどこまでやるか

「自律」した人材とは何か？



心

自律、自立

自律とは、自ら進んで行動すること。他人の強制や監視を待たずに、自分の意志で行動すること。

自律のメリット

- 責任感が強い
- 周囲からの信頼が厚い
- 自己管理能力が高い
- 周囲からの評価が高い

自律のデメリット

- 周囲からの期待が高くなる
- 周囲からのプレッシャーがかかる
- 周囲からの批判を受ける

自律を身につける方法

- 目標を設定する
- 計画を立てる
- 行動を起こす
- 振り返る

自律の心構え

- 責任を自分で負う
- 周囲からの期待に応える
- 周囲からの批判を受け止める

体

健康な体は成功の基盤

健康な体は、仕事や生活の基盤となる。健康を維持することは、成功の第一歩である。

健康維持のポイント

- 十分な睡眠をとる
- バランスの取れた食生活を送る
- 適度な運動をする
- ストレスを溜めない

健康維持のメリット

- 仕事のパフォーマンスが上がる
- 生活の質が上がる
- 長生きできる

健康維持のデメリット

- 健康維持に時間がかかる
- 健康維持に費用がかかる

健康維持の方法

- 睡眠の質を上げる
- 食生活を見直す
- 運動習慣を身につける
- ストレス管理をする

技

リーダーとしての立ち振る舞い

リーダーとしての立ち振る舞いは、チームの士気を高め、目標達成に貢献する。

リーダーとしての立ち振る舞いのポイント

- 明確な指示を出す
- 周囲からのサポートを受ける
- 周囲からの期待に応える
- 周囲からの批判を受け止める

リーダーとしての立ち振る舞いのメリット

- チームのパフォーマンスが上がる
- チームの士気が上がる
- チームの目標達成率が上がる

リーダーとしての立ち振る舞いのデメリット

- リーダーとしての責任が重い
- リーダーとしてのプレッシャーがかかる

リーダーとしての立ち振る舞いの方法

- 明確な目標を設定する
- 明確な指示を出す
- 周囲からのサポートを受ける
- 周囲からの期待に応える
- 周囲からの批判を受け止める

総合力

総合力は成功の鍵

総合力は、心、体、技の総合力である。総合力を高めることは、成功の鍵となる。

総合力を高めるポイント

- 心、体、技のバランスを重視する
- 心、体、技のそれぞれを強化する
- 心、体、技の総合力を高める

総合力を高めるメリット

- 仕事のパフォーマンスが上がる
- 生活の質が上がる
- 長生きできる

総合力を高めるデメリット

- 総合力を高めるのに時間がかかる
- 総合力を高めるのに費用がかかる

総合力を高める方法

- 心、体、技のそれぞれを強化する
- 心、体、技の総合力を高める

FriendShip TOKYO in the New Normal

～東京の挑戦～

2020年7月12日(日)



New Normal '新しい日常'とは

教育のNew Normal



教育の本質



well-being

所属するべきではない

GAFIA デジタル革新

消費するモノの共有化 価値の共有化
 従来の価値観
 価値観の刷新
 経済は
 人口移動に

Human being
 Human CO-being
 新たな価値観を創造する

なぜWell? 共創してC.
 Better CO-being
 時代の

新しい時代のChallenge

設立の思い

アフリカ孤児院での経験
 夢を達成できなかった理由
 日本の子供たち
 息巻いた環境の中に
 夢を達成できない子供たちがい

A Challenger とは

これは日本
 の時...
 サッカー選手
 チャンピオン
 元OJの違和感...
 ずっと挑戦しつづけた!

ミッション

世界をより良くしたい
 → 人の夢を達成するように...
 夢を達成しない理由は
 貧困はびの標...
 経済的理由で
 夢を達成できない子供たち

挑戦者

「少額でも
 投資したい」
 3000円から
 始める
 日本、平和を築ける...

Now Do

トランスパレンツな教育を...
 誰にでも手が届く仕組みが!
 ↓ 具現化は...
 2000円から受けられる
 投資の仕組み
 世界中にお金は増えている...
 教育は最高の資産性...
 投資は?

コロナでの変化

1番変わるのは
 ミーティングのやり方。
 雇用が回復するまで
 働き方改革が...
 感情をどう
 伝えるか?
 変化に強い人材とは
 変化に強い人材とは
 各業界のトランスパレンツな
 人との意見交換
 挑戦しよう!
 自分を変えよう!

クロストーク: 新しい日常の実践

Q コロナで社会はどう変わった?

世界が模索している
 デジタルへのシフト
 リモートに、少しでも多くの
 課題解決
 地域につながる
 モリモリモートでつながる
 会った
 会わない

宮田さん
 金子さん
 東京青年会議所

Q 生活や働き方、どう変わるべき?

おさがえという考え方は
 新しい価値は生み出せない
 リモートだからこそ
 できる。
 オリンピックを食化のとき?
 本日の東京また身たい...
 無観客なら開催できそう
 → どうやって熱狂を生かす?
 Now doさん、リクエスト!
 大変だったことは?
 お金も重要でも、お金がない子供
 にも届けたい...
 リモート

Q 教育について

デジタル世界はとくに根性...
 地域と連携
 多様な価値観...
 → 選択的参加が!
 教育への貢献を可視化
 データを用いた「教育」の
 価値を豊かに。
 ビジネスでは...
 CSR → 言葉に伝わった
 SDGs → ビジネスに
 おかたはならない

Q 新しい時代の挑戦とは

コロナ、デジタルを活用して
 リスクマネジメント。
 データを把握することが大切。
 さいごに一言
 変化とおこせる人にならねば。
 子供たちにおよぶ
 知識や経験を
 正しいカタチで届ける!

言葉の力で 新時代を切り開け

2020.8.12 19:00~21:00 YouTube Liveにて配信



効果的な
情報発信



カタリバ
リブランディング

今村 久美氏



言語化力
『ゼロリスク』

三浦 崇宏氏

言語化
ワークショップ

カタリバ

日本
10代
中心

学校と家庭以外で
人と人との繋がり
を地域でつくる

- 1 サードプレイス
- 2 プログラム提供
- 3 ハングアウト支援

大切にしている軸 **『ナマケの関わり』**

言葉が表すのすぎない

インナーコミュニケーションのための リブランディング

カタリバが大きくなり、必要に...

- 1 得意や強みを1つにする
言葉・ストーリー
- 2 スタッフが読める玄関口



まずは内面からの
心からは、社会にどう
インパクトを付けていくか!

Q&A

プロダクトと企業のブランディングの違い?
たしかに
プロダクトと
ブランディング
の違いは?



- 結果よりプロセス
- 何をやるかより
何をやるか

自分の仕事は
社会にどう
貢献できるか
10代から
力を発揮

10代から
力を発揮
社会にどう
貢献できるか



NPO

意思は必ずしも



言語化力

自分にとっての
相手にとっての

1 スタンスを決める



2 主観と客観を 組み合わせる



3 因数分解する



4 ランキングを編集する



自分の言葉
を表現する
ワークショップ



with

IRIS

年内利用可能



『上』しないためには

- 思考のプロセスを共有する



- ターゲット以外のことも考える
- マーケティングに多様性をとり入れる

未来は僕たちの中にある

~ You can create the world ~

2020.9.5 15:00~16:00 YouTube Liveにて配信



前野 隆司氏

中長期ビジョン
コンセプトムービー
発表

幸福学

クロストーク
「日本・東京の未来像」

地域力創造



朝比奈一郎氏 江上 隆夫氏

ブランド戦略

中長期ビジョン策定

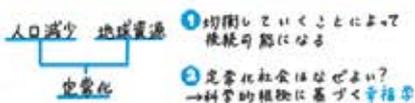
経緯



社会状況



社会状況をポジティブに捉える



新しい豊かさの価値≠経済成長

日本は世界に先駆けて定常化へ突入



ビジョンのコンセプトムービー



持続可能な幸福中心社会 -政策ごとのビジョン-



ディスカッション





10月第一例会

君の声で世の中が変わる!

国や社会を変えよう!

公益社団法人東京青年会議所
2020年10月16日(金)



ミッション
若者が声をもち、届け、
その声が響く
社会をつくるために

デンマーク留学で感じたこと
デンマークで感じた民主主義

- ① とにかく投票率が高い！アワツツ!
- ② 政治家が若い女性が多い
- ③ 声を上げて動けば政治を変える、と若者が本当に思っている
- ④ フォルクハイムスホルム (民主主義の学校)
- ⑤ 友達が他国から自分で考えられる人を作る

NO YOUTH NO JAPAN
について

Instagram
Instagramを中心に若い世代の政治家加齢もと身近なものに！と2019.7月から活動

政治を知る
スタンスを持つ
アクションする

たとえば... 政治家に直接声を届ける機会あり

若い人に届けたいけど、若者は見ていない気がする
政治家

政治家はほんとに数少ない、若者のこびりて気になってないよ
若い人

政局ではなく、政策に注目
絶対的な正義はない
意見と人格を切り離す
金と知恵は別
投票したい

 坂井 崇俊 国会議員公設秘書 参議院議員公設秘書 政治家秘書をやるといって、みんなイデオロギ-話せなくなる	 室橋 祐貴 日本若者協議会代表理事 日本版ユースパラメント企画 若者と集まって政策に落としこみ、政治家に届ける	 井田 奈穂 選抜的未婚女性・全国候補アクション 積極×会社員 ぜひみなさんも地域の政治家に会ってみて	 能條 桃子 NO YOUTH NO JAPAN 代表 SNS × 大学生 冷やかな目からInstagram始めたら変わった	 せやろがいおじさん お笑い芸人 お笑い×政治 youtube 一番みてくれるのは25~35才
---	---	--	---	--

政治に対するコミュニケーション

なぜ話したいじゃないことみたいになっただろ？

女言葉が得意じゃない
学校と生徒が対等に話してる国たくさんある

反対意見を直接ぶつけてくれること(はネリがたい)

「社会課題を解決してくれるツールとしての政治」として考える

会話の雰囲気や話の組み立て、異論とのコミュニケーション、批判の作法、1冊書

わたしが動いても変わらないでしょ？」という若者に対して

政治家、さっさと会える!

声上げると変わるんだなと気づいてほしい

政治への参加は投票以外もある。とにかく一度会いにいってみて!

アンケート
ある 98%

困りにごめんなさい
議員の気持ち伝えたい!

どういったアクションを取ったらいい?

日本はまだまだ「子どもは親のもの」って豊田氏が

ハードル高いうって思ってる意識を変えてみて

公園で野球をしたい
小学生の事情通た
SNSの力すごい

日常のモヤモヤにつなげてみて

新聞読むだけでも社会活動
校則って一番いい題材かも

まとめ

政治に関心でも無関心でもいい

陳情・デモ・提言などツールをみんな知らない
教育や制度が変わる必要

声を出していいんだよ!

いろんな世代が変わる必要
身近な人に働きかけていこう

投票してない人にも届けたい
発信していきたい

企業×JCI東京 繋げて起こせよムーブメント



2020年度10月第2例会
2020.10.29. 19:00~20:30 YouTube LIVEにて配信

第1部



対話から始めれば実現できる!!
Z世代への思い

第3部



1.なぜ企業が社会活動を行うのか SUNDRED - 実現すべき未来 -

課題

日本
スタートアップ企業
→ 大企業から転職する人は少ない

各社がバラバラに問題解決
→ 企業同士が対話をして共に課題に取り組み
→ 共有を通じて新産業、新しい社会を生み出す

「実現すべき未来」のための100個の新産業の共創

Society 5.0
「人間中心社会」の実現

「イノベーター」の理想郷

言葉もが前向きに、自信を持って共に歩いていける世界へ

エコシステム (新産業)

トリガー事業
アプリケーショングラウンド
相互発展により、産業化する

プラットフォーム型

Industry-Up Day

社員エコシステム
やりたい人が集まってくるプロジェクト

実現すべき未来

目的/エコシステム共創

イノベーター

VC
企業
VC
スタートアップ
VC
スタートアップ

新産業共創
スタートアップ

目的/エコシステム共創

1. 目的の共創 2. 共創の設立
3. チームの組成 4. 事業の強化
5. 事業の強化

3. エコシステム共創の共創 4. エコシステム構築の加速

BC) フィッシュファーム産業

シェフ 消費者 生産者 研究者 学校
みんなで知恵を出そう
→ ケスタナルでおいしい魚

2.連携して行う社会活動モデル

3.企業の社会活動について考える

Google x JCI

Otsuka x JCI

社会活動 大切にしていること JCI東京への期待

これからの働き方セミナー
September 6, 2020

地域課題 x デジタルスキル
Grow with Google

組織運営 & 9x7管理
子会社の体験の場

生活習慣病対策セミナー
October 9, 2020

「健康経営」について学ぶ

5つの武器
生活習慣病予防
最先端の情報収集
交流の場
中 貴社社員と共有
企業健康社長

2つのセミナー
成果
企業活動
推進
価値創造
への貢献

大川氏
印刷会社
再生可能エネルギー
人材問題

東浦氏
スタートアップ
まちづくり
農耕型のテラポピー
健康に役立つ製品づくり

石川氏
熱中症対策のため

SDGs + 地域課題
地域志向 + 社会的責任
子ども教育 & Start up 支援

健康課題にチャレンジ!!
緑を大切に
子どもの教育

互いにリスペクトし合える組織
「ギョウ」精神

信頼

健康
or 売り上げ
経営戦略に!!
Z世代の活躍



アサーション
を学ぶ

11月例会 「自己主張」できる 人財を作る

公益社団法人東京青年会議所
2020年11月10日(火)

・アサーションとは・



対人関係への深まりを促す「**自他尊重**のコミュニケーション」

アサーション基礎整理編

自己表現の3つのタイプ



1 非主張的
(自分を主張)



2 攻撃的
(相手を主張)



3 アサーティブ
(自分も相手も大切に)

ものの見方とアサーションの関係



ものの見方は
社会で学習していく



独自の見方・感じ方
をしている人間



ものの見方・考え方は
変えることができる

人権としてのアサーション



自己表現



他者と違う



ヒューマンエラー

アサーションマインドを活かすセルフづくり

Describe

説明する「ここはなぜここが並んでいるのですか？」

Express

感情を表現する「あなたはお怒りがおさまっていますか？」

Specify

指定する「後ろへ退いてくださいませんか？」

Choose

選択形を示す「あなたは退いていただくか、後ろへ退いてくださいますか？」

アサーション応用編

仕事編

子どもの誕生日早く帰りたい VS 大事な資料制作遅延してほしい

「お疲れ様です。今日は早く帰りたいのですが、資料制作は遅延してほしいです。」

「お疲れ様です。今日は早く帰りたいのですが、資料制作は遅延してほしいです。」

「お疲れ様です。今日は早く帰りたいのですが、資料制作は遅延してほしいです。」

平木先生のFB 感謝と解決策を伝えていって👍

家庭編

買い出しに行してほしい VS 休みたい

「お疲れ様です。今日は買い出しに行きたいのですが、休みたいです。」

「お疲れ様です。今日は買い出しに行きたいのですが、休みたいです。」

「お疲れ様です。今日は買い出しに行きたいのですが、休みたいです。」

平木先生のFB 家庭の方が難しいかも

架空のJC編

引強引に委員長を任せられそう...

「無理です。できません。」

「お疲れ様です。今日は早く帰りたいのですが、資料制作は遅延してほしいです。」

「お疲れ様です。今日は早く帰りたいのですが、資料制作は遅延してほしいです。」

平木先生のFB ただ断るのはアグレッシブな切り方。DESCを意識しよう



平木先生から
最後にひとこと

仕事の場合感情を表現してはならないと思ってる人が多い。

感情的にならず、ごも相手や自分の気持ちを大切に。

それを言葉にしなからコミュニケーションしていきましょう。

12月例会



新時代を切り開く東京

～変化に強い人材が溢れる社会を目指して～

12月5日、ホテル椿山荘東京にて12月例会が開催されました。コロナ禍での開催のため、事前の体調確認やアルコール消毒、ソーシャルディスタンスの確保、開催時間の短縮等、感染対策を万全にし、執り行うことができました。

第1部は公益社団法人東京青年会議所第71代理事長 伊澤英太君の挨拶からスタートし、専務理事諸喜田智君より1年間の活動報告が行われました。また、表彰式では2020年度に最も優れた活動が行われた委員会に表彰される褒賞が発表されました。第2部では今年度卒業を迎える1980年生まれの卒業生を送り出す卒業式が開催されました。



国際政策室

新宿、品川、世田谷、中野、足立の5地区委員会と国際政策委員会で構成される国際政策室では、コロナ禍の影響を受けながらも、各委員長の尽力によって、JCとして行うべきさまざまな事業を行ってきました。

共生社会政策室

共生社会政策室は新たな共生社会の形として中小企業と就労継続支援B型事業所の業務委託によるビジネスの可能性をテーマに3月例会を主管しました。推進運動では就労継続支援B型事業所を利用する障害者の工賃向上を目的に、中小企業からの業務委託を増やすべくビジネスマッチングを行いました。

経済政策室

経済政策室は「新たな企業価値の創造」を2020年度のテーマとしてきました。コロナ禍に於ける中小企業の事業継続の道筋を見つけることを目的に政策委員会、地区委員会とともにコロナ対策に必要な手法、選択肢を示し、情報発信等も行っていました。

政治行政政策室

政治行政政策室では、「政治を身近なものに」をテーマに、多くの学生団体を含めた関係団体と連携し、1年間運動をおこなってまいりました。討論会、例会、推進運動と、コロナ禍ではありましたが、その時の状況に合わせて最善の方法で開催することができました。

教育政策室

教育政策室では、子供も大人も積極的に学び、変化に強い人材を養成する必要があることを指し示し、新時代を切り開く東京の創造に向けて1年間運動を行ってまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響で大きく制限された中での運動となりましたが、非認知能力の中で「自己肯定感」に焦点をあて、子供や保護者だけでなく、教師の自己肯定感の向上に向けて運動をしてまいりました。

組織力向上室

本年度、組織力向上室では、わんぱく相撲全国大会の実行委員会体制の変更と感染症対応の運営マニュアルの策定、会員拡大ではオンラインを取り入れたハイブリッドな入会説明会を行い、コロナ禍でも新たに変化に強い人材を創出し、明確なビジョンを共有し具体的な行動をし続ける組織の構築を行ってまいりました。

渉外連携室

本年は新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた担いの大半が中止となり、メンバーがJCの可能性を体感し、自身の成長につながるような機会の構築が難しい一年となりました。「飛べない国際」として成果が見出しづらい一年となりましたが、APICC オンライン開催やJC I マニラへの医療物資寄附ならびにチャリティーオンラインコンサート協力などの成果を残すことができました。

総務室

総務室においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、運営方法を大きく転換させなければいけない1年となりました。その中で、Webツールについて学び、メンバーに寄り添いながら、変化に強い人材として臨機応変に対応し、スムーズな運営を行うことができました。

財務室

財務審査では、混乱の中でも早急かつ柔軟にルール変更し、明確な審査軸のもと、公益法人として十分な信用を得ました。財務運営委員会では、過去にない協賛実績を達成すると共に、初となる例会の主管に手を挙げ、その成果を広く社会に伝えました。財務室は柔軟に多くの変化に挑戦し、社会からの更なる信頼を獲得しました。

委員会報告

中央区委員会



2020年度「想像力で世界を変える」をスローガンに掲げて1年間活動しました。新型コロナウイルス感染症拡大懸念から国際交流事業「中央WALK」、心のバリアフリー事業「心の手を繋ぎませんか」の中止を決定し、名称使用事業「第44回わんぱく相撲中央区大会」も中止となりました。「Oeodo Happy Festival～お家でつながる盆踊り大会」は中央区のみならず、他地区、他団体、子どもたち、更には海外と多くの方に盆踊りを踊っていただき、ケーブルテレビ番組、WEB上で発信され、コロナ禍での新しい事業を形にすることができました。人との接触が制限される中で、オンラインの特性を生かし、離れていながらも皆で活動していく中で、人としても成長できたのではないかと感じました。



「Oeodo Happy Festival～お家でつながる盆踊り大会」はコロナ禍で今私たちに何ができるかを考えて企画した事業です。多くの夏のお祭りが新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止を余儀なくされました。そこでインターネットで盆踊り練習動画を配信し、それを観た中央区の皆様がご自宅で練習し踊ったり、練習の成果をSNSで発信したりして、お家でお祭り気分を楽しんでもらう企画を考えました。その結果、自宅でオリジナルのハッピーを着て踊ったり、浴衣を着て舞ったりと観ている側も楽しくなる100人以上の盆踊り動画が集まりました。また、中央区の多くの商店街の見どころや歴史を紹介し、地域のグルメレポートなども交え、より多くの方に中央区を知っていただく機会となりました。盆踊り、商店街紹介を交えたケーブルテレビ番組、及びWEB上での発信は多くの方の目に留まり、コロナ禍を乗り越える楽しい事業を創り上げることができました。

江東区委員会



江東区委員会では、「前例にとらわれるな、自ら考え、行動する力を高めよ」というスローガン掲げ、この1年間、ウェブを利用した定例の委員会、新型コロナウイルス感染者に対するインタビュー動画やソーシャル・ディスタンスについての啓蒙動画の配信、介護業界に対する支援を目的とした動画を用いた事業の実施をするなど、様々な活動に取り組んできました。コロナ禍において、対面での活動は制限されましたが、今ある環境下で何ができるかをメンバー一人一人が考え、行動するという修練にもなったと思います。2021年に向けて2人の新規会員を迎えましたので、より積極的に活動していきたいと考えております。



江東区委員会では、「介護福祉関係者への支援を」というタイトルを付けた地区事業を実施しました。今後、高齢化率がより高まる現代社会において、介護事業は、社会のインフラとなる事業として必要不可欠な存在ですが、その一方で、過酷な労働環境・低賃金といったマイナスイメージから、人材不足に悩む介護事業所が少なくありません。私たち江東区委員会では、介護事業の真実を伝えるべく、多数の介護事業所を訪問し、経営者又は施設管理者、職員の方から、介護事業所ごとの理念、やりがい、就労環境などについてインタビューするとともに、利用者と職員の方々との関わりや現場の状況について撮影し、介護現場の実情や生の声を、多数発信、拡散しました。また、コロナ禍において真に必要な支援や行政への要請について調査、発信を行いました。このような運動を通じて、介護に対する一般市民の理解を深め、若者の就職や転職を促し人材不足の解消の一助になれば幸いです。

港区委員会



港区委員会ではこれまで、わんぱく相撲港区大会・港区アートフェス・港区経済ハブと、地域と密接に紐づいた運動を展開して参りました。平成 28 年には港区との連携協力協定も締結し、行政から我々の運動に対する期待も一層大きくなっています。これまでに生み出してきた運動が一層地域に根付き、更には港区委員会の手を離れて自走できる環境を整えるため、2020年度は地域諸団体との協力体制を強化し、より自立した運営を推進してまいりました。また、2020年は「一期一縁」をスローガンに、一つ一つの出逢いを大切に、様々な運動を通じたメンバー同士の絆やパートナーシップを深めることを目指して活動致しました。



2020年度、港区委員会では新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態の中で、「自分たちができることは何か」を模索し、運動を続けてまいりました。港区長選挙公開討論会では、新型コロナウイルスの感染拡大の観点から開催中止となりましたが、より多くの有権者に候補者の政策を知っていただくために、政策一覧表を作成し、SNS 等で発信致しました。また、名称使用事業として、SDGs をテーマとしたアート展「港区アートフェス」をはじめとして、次代を担う「小学生・高校生」が考える社会課題を発表し、大人と議論し、具体的なアクションを起こしていくことを目的とした「港区ヒーローアカデミー」、"with コロナにおける私たちの健康とビジネス" をテーマとした講演会を実施した「港区経済ハブ」等の事業をオンラインにて開催し、コロナ禍の中でも新しい生活様式に合わせた事業を行いました。

千代田区委員会



2020年度、千代田区委員会は「千代田プライド」をスローガンに活動を行ってきました。千代田区委員会の特徴としては、メンバー同士の結束力が強いことや主体性を持って行動するメンバーが多いことがあげられ、コロナ禍でも地区事業や名称使用事業を成功させてきました。地域の学校や社会福祉協議会との繋がりも強く、事業以外でも連携しながら活動を行っています。千代田区委員会は一人ひとりが千代田区委員会らしさを持ったメンバーで構成されています。千代田区は東京の中心、さらには日本の中心の地区です。メンバー全員が「千代田プライド」を持って行動することで、明るい豊かな社会の実現を目指しております。



千代田区では、近年、人口の流入により、14歳以下の人口が激増しております。その結果、今まで想定しかかった様々な事象が発生し、地域課題となっております。2020年度千代田区委員会では、地域コミュニティの拠点として子ども食堂に着目し、千代田区委員会地区事業～地域で見守る令和の子育て～と題し事業を行いました。講師には湯浅誠氏（社会活動家）と横山だいすけ氏（歌手・俳優）に登壇いただき、地域住民の方々に、千代田区内の子育て世帯の現状と家庭を支援する地域コミュニティの重要性をお伝えしました。また事業の内容は報告書にまとめ、今後の千代田区における地域社会のあり方について行政に提言を行っております。千代田区は人口構造の変化により、これから様々な問題が発生することが予想されます。このようなときこそ、我々 JC が地域と行政の HUB となり、運動を展開していきたいと考えております。

足立区委員会



足立区委員会は、人口約70万人の足立区で活躍する若き青年経済人の集まりです。30代前半のメンバーも多く、日々非常に積極的にJC活動をしております。さて、2020年度は新型コロナウイルスの影響があり、表立った活動がしにくい年でした。そのような中でも我々足立区委員会は、会員拡大が大切だと考え、JCの魅力について再考しながら外部団体の方々とウェブ等を通じて積極的に交流し、様々なアドバイスを頂戴しながら広報活動をして参りました。また、2021年度、足立区委員会では新規事業を開催致します。2020年度、皆様から頂戴したアドバイスを元に、2021年度を更なる飛躍の年と致します。

葛飾区委員会



本年度の葛飾区委員会は「百花繚乱〜芽の出ない種はない水を与え続ける限り〜」をスローガンに運動を続けてまいりました。コロナ渦の中、一人ひとりがいま自分で出来ることを探して行動していくという意識が充実してきたように感じます。新入会員も3名入り、コロナ対策をしながら体験型の事業を行えたのもメンバーが一丸となり明るい豊かな社会を築きあげようと全員が努力を惜しまなかったからです。全員が自分の才能という種に修練という水を与え続けた結果、いま綺麗に咲き誇っているメンバーの未来が楽しみで、これから先も葛飾区の未来を明るくしていくように歩んでいきます。



「働きやすく住みやすい産業地域社会」を実現させるために、次世代を担う青少年の地域産業への就労意欲を高めることを目的に9月に事業を行いました。産業地域社会という目標を実現させるためには地域産業の従事者数を増やしていくことが重要です。地域産業を盛り上げる為には、地域産業の技術や魅力を葛飾区民に伝え、子どもの中から地域産業への就労意欲を高めることが急務です。本事業では、コロナ対策段ボール避難所製作、電気工事体験、フェースシールド製作、フラワーアレンジメント製作、防災グッズ体験の5つの体験ブースを作り、子どもたちに地域の企業を詳しく知ってもらいました。ただし、1校でしか開催できていないため、継続的に区内全ての学校で行うことができれば、「働きやすく住みやすい産業地域社会」が実現する葛飾区の未来が見えてきます。

北区委員会



北区委員会の特徴は、とにかくメンバーみんなの仲がいいことです！昨年、当委員会では11名の卒業生を輩出することとなりました。11名の先輩方はとにかくパワフルで、今後これまでと同じように運動していけるのか不安を感じていました。しかし残されたメンバーが一気団結し、委員会活動を盛り上げることで、これまで以上に活気をもって活動してきました。そこで培われたのが、メンバー同士の信頼感や、団結力というチームワークです。このチームワークを活かし、コロナ渦中であっても常に進化しながら社会をよくしていこうと運動を続けています。激しく変化し、多様化していく社会課題を、柔軟な発想でメンバー全員が同じビジョンをもって共に解決していく！そんな素晴らしい環境がここにはあります。

江戸川区委員会



江戸川区委員会は様々な業種の職業があり、弁護士、会計士、議員、基礎産業、建築、運送と幅広いメンバーとなっています。会員同士の仲も良く、委員会終了後の懇親会は全員が参加し意見を取り交わすこともあります。江戸川委員会の1番の特色は、経済的合理性の価値基準を持ち活動できる点です。ボランティア活動、地域活動においてもこの観点から活動することによって最大効果を出すことができ、過去の流れを何も考えず引き継ぐ悪い習慣もありません。そのため、事業に関しても毎年地域の課題に沿った事業展開ができています。会員拡大においてもこのような価値基準をもって委員に魅力を感じる方も多く、毎年新入会員が増加しています。



本年、コロナウイルスの蔓延により、日本国全体に大きな影響を及ぼしています。江戸川区においても例外ではなく、各自治体での対応が必須となっていました。事業として構築するにあたり、守らなくてはいけないのは医療現場であると考えました。医療現場といっても幅広いですが、国からの衛生用品が不足している看護、介護の部門に視野をあて、行政と連携しマスク、消毒品を現場に届けました。金額にして30万円ほどになります。本来は区民全員分のマスクを供給することがベストではありますが、江戸川区委員会のこのような活動により、行政に前もって衛生用品を確保する必要性を感じて頂けたことは大きな成果であると考えております。継続できる事業構築が本来の姿ではありますが、江戸川区委員会としては情勢に応じて最適な事業ができたといえるのではないのでしょうか。

練馬区委員会



練馬区委員会は25名前前後で活動し結束力が強く、委員会運営から事業構築まで全メンバー丸となって運動を興すことをモットーとしている東京青年会議所では中規模の委員会です。全メンバーが責任感を持って委員会活動に取り組んでいるため、月に一度の委員会も、出席率が高く、2020年度は欠席ゼロを複数回達成しております。メンバーそれぞれ違う環境で活動している中で、家庭や仕事に無理のない範囲で活動できるよう協力し合っています。個人の成長を大事にしているため、多少の負荷をあえてかけることもあります。必ず成長の実感ができる委員会です。



新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が発令されるなど、これまで体験したことのない状況に多くの市民が困惑いたしました。練馬区委員会として『今』何ができるかを考え、練馬区のためにできることとして、『練馬応援プロジェクト』を立ち上げ、動画を作成し配信いたしました。医療従事者など新型コロナウイルスと最前線で戦っている方に向けた動画と、自粛により自宅待機を余儀なくされている多くの市民に向けた応援動画を作成し、迅速に発信対応いたしました。また、区内に存在する多くの関係団体と協力しマスク不足を解消するために34,000枚のマスクを練馬区へ寄贈した『練馬あしながプロジェクト』を発足し、通常連携することのない団体同士の垣根を超えた例のない初の活動で、今後の災害に備えた絆づくりを誕生させました。

品川区委員会



品川区委員会は、多種多様な職種（建設、旅行、印刷、議員、マスコミ、士業等）のメンバーが所属しています。各諸会議に参加する際は「品川ツアー」と題して行き来を共にするなど、メンバー同士の交流が非常に多いのが特徴です。また、OBとのゴルフも年二回開催しております。外部関係団体では、品川区や教育委員会など行政、品川区商工会議所などと密な連携を図り、事業を展開しております。2020年度は「志高く」をテーマにコロナ禍においても、一人一人が地域のリーダーと自覚を持ち、率先して事業を展開してきました。メンバーの交流だけではなく、「明るい豊かな社会の創造」に向けて、地域のため、人のために真剣に向き合い、率先して行動してまいりました。



2020年度品川区委員会は、コロナ禍でも品川区内の市民のため、町のために事業を展開してまいりました。コロナで社会活動が止まっている中、私たちができることを模索し「#今できることプロジェクト」を立ち上げ、第一弾「#献血支援活動」、第二弾はオンライン事業「#バランスチャレンジ選手権」、第三弾「#消毒液寄付」と幅広い運動を志高いメンバーとともに展開してきました。そして、国際人材の育成を目的とした「世界と繋がる～2020翔け世界へ!～」は、コロナにより開催延期となりましたが、オンライン開催に切り替えて事業を展開することができました。オンラインという特性を使い、ニューヨークの国連本部で働く、日本の外交官に講師として参加いただきました。子供達やその保護者からは「何故外交官になったのか。」「どうすれば国際社会で活躍できるのか。」などの質問が投げかけられました。その結果、多くの参加者の意識改革へと繋げることができました。

板橋区委員会



私たち板橋区委員会は、「いたばし」をより良い地域にしたいという想いをもった仲間が集まり、地域の活性化や青少年の健全育成を目的とした事業を行っています。所属するメンバーは、タイプも職業も多種多様。同年代で共通意識を持っているので、社業や家族や個人のことを語り合える仲間が多くいます。そして、「いたばし」で生まれ育ったメンバーが多く在籍していることで、より地域に密着した、より地域を巻き込んだ運動を展開しております。



2020年度は地区事業を開催できませんでしたが、過去に板橋区委員会では地域に住む子育て世代と商店街を繋げ、地域の活性化を図ることを目的とした「はじめてのおつかい」や恩送りの心を繋げる「PAY IT FORWARD」、教師の現状を家庭や地域に理解してもらい、教師へエールを送る「先生ありがとう」などの事業を展開してまいりました。直近で行った「先生ありがとう」事業については東京都内、そして日本全国に「教師の日」を広めていくために現在もメンバーが実行委員会に携わるなど活動を続けております。その他にも、板橋区内で開催される、わんぱく相撲大会やいたばし産業見本市、各種公開討論会や音楽祭などにも積極的に協力をして地域の活性化に寄与しております。

世田谷区委員会



本年度は【輝きある創造～相手を想い、地域を創る～】をスローガンとして、地域と仲間を想う気持ちを持ち、それぞれが成長しあえる関係を築くことを目標に活動してきました。

新型コロナウイルス感染症の影響で多くの名称使用事業が中止するなか、地域の方のご協力のもと、地区事業「みんなで創る繋がる未来」を開催しました。3か年事業の2年目に位置する本事業は、子どもの非認知能力の向上を目的として運動しています。これからも、明るい豊かな世田谷区の実現に向け、自らが能動的に、未来を思い描き想像することを、メンバー一丸となって活動してまいります。



「世田谷区委員会地区事業～みんなで創る繋がる未来～」近年、都市化や地域に地縁的繋がりが希薄化していることによる、学童期の子どもの「コミュニケーション能力」の成長への悪影響が危惧されていることから、「子どもと地域の日常的なコミュニケーションの仕組みの構築」を目的とし、Web上で、子どもたちがコミュニケーションを学びながら、商店街のお店にインタビューをして、お店のPR動画を作成するという事業を行いました。事業後には、参加した子どもたちだけでなく、商店街の方々からも、「地域の子もたちとの関わりを積極的に持つきっかけとなった」とのお声をいただきました。今後も、私たちは、本事業のノウハウをまとめたマニュアル動画をさらに他の商店街や地域団体に発信して実際に本事業と同様の企画が開催されることを促し、地域におけるコミュニケーションの機会を高める運動を広げていきます。

渋谷区委員会



本年は「次への挑戦」をテーマに活動してきました。2月よりオンラインでの委員会開催となり、新しい環境の中、渋谷区行政や医療機関との連携をはかり、6月には渋谷を元気づけるプロジェクトへの協力や10月には2年目を迎えた地区事業「MANABUYA」を中学生向けに「イノベーションと起業」を中心とした3日間に渡る事業をオンラインで開催し、渋谷区長や大館市長、東急不動産を始めとする各協力企業の皆様へ中学生がビジネスモデルをプレゼンする貴重な機会となりました。渋谷区が開催している、「くみんの広場」「SIW」にもオンラインにてコンテンツを協力しました。今後も地域に根差した活動を行うことで地域課題の解決に努めて参ります。



地区事業の「MANABUYA」では、イノベティブな起業家を育成し、輩出する土壌を広げるため、中学生を対象に、有識者の皆様（K.I.T. 虎ノ門大学院教授三谷氏、セブン銀行・副参事 / 立命館大学・客員教授山田氏、凸版印刷、アイカサ、Grow with google、合同会社 All Days Sport、中学生起業家加藤氏、アントレキッズ）から、イノベーション、起業、経済、金融、ビジネスモデル、IT、ユニバーサルの教育事業を実施、さらに実体験できるグループワークを行い、最終的には、区長、大館市長、各企業へプレゼンテーションを行いました。新しい環境への対応として、ZoomやYouTubeLIVEを使用し渋谷区委員会初のオンライン事業となりました。また、参加した中学生と企業の連携が始まり、今後につながる事業となり、イノベティブな起業家の育成と輩出する土壌を広げることに近づきました。

新宿区委員会



2020年度、新宿区委員会108名は第46委員長大人慶太の掲げるスローガンである「時代を創造する先駆者たれ」を胸に、新宿区のより明るい豊かな社会を実現するための運動を行いました。我々の所属する新宿区は人口34万8千人、内外国人は4万3千人という1割以上の人々が外国人という都内一の多文化共生社会を織りなしています。異なる文化を持つ民族が互いを認め合い共生する社会を創りあげることが、JC活動の理念と一致します。新宿区委員会では、①多文化共生事業を主とした他団体とのコミュニティ単位での交流を行う、②情報発信を積極的に行い志を同じうする者を拡大し個々の能力を高めJC活動の意味や意義を理解・伝播する、③運営面での効果的かつ効率的な変化への挑戦の3点に焦点を絞り運動を行いました。



新宿区委員会では、「Think about the future of Shinjuku～新宿の未来について考えていこう～」を開催いたしました。第1部では、吉住健一新宿区長と東国原英夫様をお招きし、さらに新宿区民代表として当委員会委員長の大人慶太も交えた対談を行いました。テーマは、コロナ禍における新宿区の現在、そして、未来についてでした。吉住区長からはコロナ禍における行政の活動について、東国原様からは宮崎県知事時代のご経験などをお話いただきました。委員長大人は、新宿区民を代表して、吉住区長と東国原様に質問いたしました。第2部では、吉住新宿区長をはじめ、新宿にゆかりのある関連団体から10名の方々をお招きして、意見交換を行いました。その結果、新宿区内の団体が連携して、新宿のイメージを回復するため情報を発信することが重要であるとの認識で一致いたしました。コロナ禍で活動が制限される中、団体同士の連携をより強化することで、地域が一体となり明るく豊かなまちづくりの土壌が創れました。ご協力いただきました皆さんには、深く御礼申し上げます、

文京区委員会



文京区委員会は人数が多い委員会ではありませんが、委員会や事業の際には役割を分担して個々が責任をもって行動するメンバーが揃っています。またメンバー間の仲が良く、やる時はやる、遊ぶ時は遊ぶとメリハリをしっかりとつけており、メンバー同士のJC外での交流も多く見られます。近年は障害者との共生を推進していく事業をメインとして活動しています。中高生の教育に関する事業にも積極的に参加しております。また、それぞれの事業を通じて、区政や地域企業、地元住民の方々と交流し、強い信頼関係を築いています。

目黒区委員会



私たち目黒区委員会は、少数ながらも女性や若い20代のメンバーが活躍している委員会です。また、地域団体との連携も密に特に子供たちに対する活動を広く展開しています。2019年度には、児童虐待防止のための活動に取り組んでまいりました。また、明るい豊かな社会、多様性のある社会を目指し日々活動を展開しています。一緒に、お洒落な中目黒や自由が丘のカフェで桜並木を見ながら活動できる仲間を随時お待ちしております。どうぞよろしくお願致します。

荒川区委員会



2020年度は、「奮え荒川」というスローガンのもと、メンバーが様々なことに挑戦をし、発奮した1年間でした。荒川区委員会は、メンバー数16名（2020年年末時点）と比較的少人数の地区委員会ですが、少人数だからこそ16名全員仲がよく、アットホームな雰囲気のある委員会です。また、これまで荒川区委員会では夜にスタッフ会を開催することが多かったのですが、2020年度はお子さんのいる女性メンバーが2名スタッフにいたため、スタッフ会を午前中に開催するなど、しっかりと全員が参加できるよう配慮致しました。今後も、メンバー全員が活動できるような環境作りにより、委員会として取り組んで参ります。



荒川区委員会では、2020年度、「コロナに負けるな！ # 荒川テイクアウト」、「荒川区長選挙ネット討論会」という2つの地区事業を主催いたしました。

「コロナに負けるな！ # 荒川テイクアウト」では、セミナー開催やテイクアウトマップを新聞折込みチラシで区民に配布するなど、コロナ禍で苦しい状況にある区内飲食店を応援する企画を多数行いました。その結果、区内飲食店の方々から多くの感謝の声が届き、事業後、飲食店経営者の方が委員会にオブザーバーとして来てくれるなど、その後の交流も盛んです。

「荒川区長選挙ネット討論会」では、政策で候補者選択をしてもらうことを目的として、荒川区長選挙の立候補者に討論をしていただきました。討論の様子はニコニコ生放送を通じて荒川区民に届けられ、視聴者数は5,000名を超えました。そして、討論会を視聴したことで候補者の人柄や政策についてよく理解できたというご意見を多数いただきました。

墨田区委員会



墨田区委員会は現在16名と少人数ではありますが、とても仲の良い委員会です。女性メンバーも多く活躍しております。2020年度は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に合わせた地区事業を計画しておりましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。しかし、準備期間で地域団体様との絆が深まり、今後活動していく上で今まで以上の連携ができる環境になりました。今後も明るい豊かな墨田区の実現に向け邁進してまいります。

杉並区委員会



杉並区委員会では、コロナ禍で大変な思いをされている区内事業者の方に向けて、給付金や助成金などの主な事業支援策をリーフレットにまとめ、商工会議所と法人会を通じて、多くの方にご活用頂きました。また、身体を動かさずにストレスを抱えている子供たちに向けて、「わんぱく体操」という動画を作成し、皆さんに楽しんで頂いたところです。他方、思うように活動出来なかった期間を成長するための時間と捉えて、JCIアチーブセミナーを開催し、JCについての理解を深めてまいりました。お陰様で、新しい仲間も増えましたし、引き続き、杉並区委員会として、社会から必要とされていることに応えるべく、メンバー一同、頑張っております！

中野区委員会



地域に強く愛される委員会、そして誰もが心も身体もオドル社会へ！と題し、船出をした2020年の中野区委員会。しかしながら、新型コロナウイルスの影響を受け、私達も中々思う様にJCIの活動も出来ない一年でした。その中で、私たちがどの様に街に貢献できるか、また街を引っ張って行けるかを考えて歩んだこの一年…。WEBに強い者、イベントに強い者、地元の繋がりに強い者、また法律に強い者が英知を結集させ、オンラインで出来る事とオフラインで出来る事を前向きに考え、情熱と勇気を持って地域の活性化や年頭でも示した在住外国人との多文化共生に寄与をした一年でした。



事業は中野駅前大盆踊り大会とタイアップしたネオ盆踊りでした。海外の舞踊を通じて多文化共生の実現を目指しましたが、残念ながらコロナ禍で、100%の実現は難しいこととなりました。しかしながら、その中で中野区の大きなホールの一つ「中野セントラルパークカンファレンスホール」を借り、海外の舞踊を学んでいて今年度舞台の機会に恵まれなかった地域の舞踊団体の卒業生に舞踊を行なってもらい、更には多文化共生の実現には不可欠ともいえる「やさしい日本語」の告知などのイベントやブース設置を行いました。地域の団体やその保護者、またやさしい日本語の関連団体（中野区国際交流協会）等にとっても喜んで頂いた事業となりました。このような事業が出来た事も、東京JCIの各委員会の多大なる御力添えも御座いましたので、心より感謝申し上げます。来年以降の動きに大事な動きもあるので、引き続き頑張っていきたいと思います。

大田区委員会



本年度大田区委員会は「繋ぐ」をテーマに運営してまいりました。先輩から受け継がれてきたものや、地域や区政との繋がり、そしてメンバー同士の繋がりを大切にしてきた大田区は、例年様々な地域団体との連携で地域事業の開催にあたります。本年、そのほとんどが開催されず、地域の皆様との関わり合いを活かすことが出来ませんでした。2021年度はオリンピックも開催、海外との交流も多い大田区は、23区をけん引し事業の活発な開催により地域との連携はもちろんこと、本年関わる事が出来なかった関係諸団体の皆様と、来年度はこれまで以上に多くの時間を共有し、これまで以上に大田区を盛り上げていくよう努めていきます。



大田区委員会は、「ありがとうのお弁当」という子ども食堂事業に取り組んでまいりました。様々な事情を抱えるご家庭のため、そしてコロナ禍と度重なる営業自粛要請により、気持ち的にも沈んでしまった区内の飲食店とそこに勤める人たちを繋いで笑顔にしていく、そんな想いから事業の開催に踏み切りました。大田区には子ども食堂が約20店舗ありますが、今回「子ども食堂だんだん」と協力して開催、約1週間にわたり飲食店の作るお弁当を子どもたちに届けさせていただきました。飲食店に携わる皆様も、何をしたいかわからないところから、「子どもたちのために」と、楽しんでお弁当の内容を考えたり、なぜこの仕事に携わるか、と仕事の本来の意義を思い出してくれたことが今回非常に大きい成果となりました。

豊島区委員会



2020年の豊島区委員会は、メンバーの内新入会員の割合が4割弱と非常に高くなり、世代交代の兆しがありました。そこで「The Reborn 豊島区委員会」というスローガンを掲げ、各メンバーに役割を与え、活動を理解してもらう1年としました。残念ながら新型コロナウイルスの影響で予定していた運動はできませんでしたが、メンバーが知恵やアイデアを出して、どのようなことができるかを考え行動しました。新型コロナウイルスの影響で当初予定していたわんぱく相撲や地区事業の開催はかないませんでした。その中でもできることを考え、医療従事者のインタビューを掲載したり、webでのプレゼンテーショ



ンとなった豊島区の社会貢献活動”web”見本市に参加したりしました。また、8月には自衛隊を始めとする団体と協力して開催された「親子ふれあい防災スポーツフェスタ」にも参加し、自粛ムードの期間中での集客型イベントの成功にも貢献いたしました。新型コロナウイルスでの事業中止を余儀なくされる中でも、それに対応して生まれた様々な活動に新たに関わることでできた1年となりました。2021年の豊島区委員会は、アフターコロナと言われる時代の中、新たな挑戦をし飛躍していきます。

台東区委員会



本年度、台東区委員会は他地区同様、新型コロナウイルスの蔓延の影響により、わんぱく相撲台東区大会、わんぱくトライアスロンなどの開催中止を余儀なくされ、表立っての活動できない1年となってしまいました。そのコロナ禍の中で4月頃、報道で医療機関で防護服がないという実情を知り台東区委員会ではレインコート368枚、不織布マスク5,000枚、子供用ウレタンマスク80枚を新型コロナウイルス対策として台東区役所経由にて永寿病院へ納めさせて



頂き、台東区役所から感謝状を授与致しました。また拡大イベントとして(株)東京ひよ子協力のもと、本来なら行わないひよ子作り体験のイベントを行いました。また台東区が行う「江戸まちたいとう芸楽祭」の実行委員会メンバーとして大会運営に協力させていただきました。また会員拡大に関しまして、コロナ禍の影響で思うような会員拡大とはなりませんでした。3人の新入会員を迎えることができました。

特別会議・特別委員会報告

東京JC2020特別委員会



東京JC2020特別委員会は、2020年に開催される予定であった東京オリンピック・パラリンピック大会を機に、東京23区内において、持続可能な国際交流拠点を創出していく事を目的とする委員会です。9名のスタッフと、23地区委員長がメンバーという委員会構成として運営されました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、オリンピック・パラリンピックも延期となり、委員会としての事業と、各地区委員会事業とのバランスが難しい中、築き上げてきた各国との絆を次年度以降に引き継ぐために、そして感染拡大の影響の中で、限られたメンバーで真っ先に前向きな運動を展開しました。



推進事業では、各地区委員会と大使館、行政と共に各地に国際交流拠点をすることを目的として展開しました。実際に会う事が難しい情勢の中で、分断されることが無いよう、同じ地球市民としてお互いを慮ったメッセージの交換や、マスクの寄贈などを行いました。7月例会では、オリンピック・パラリンピックの延期に伴い、今何をしなければいけないのか、何ができるのかを見つめなおし、新時代「ニューノーマル」でのチャレンジについて、NowDo株式会社から本田圭佑氏、鈴木良介氏にインタビューをさせて頂きました。そして慶応義塾大学の宮田裕章教授にニューノーマルとの向き合い方を講演頂き、またトークセッションで新時代に於いての前向きなチャレンジについて発信しました。また、ホームページに特設サイトを開設し、コロナ禍におけるJC1東京の運動について、各委員会との連携を図り、特設サイトに集約することで内外に向けてその前向きな運動に誇りをもち、発信を行いました。

財務審査特別委員会



「新時代を切り開く東京～変化に強い人財が溢れる社会を目指して～」伊澤理事長の力強いスローガンのもと本年はスタートを切りました。しかし、想像以上の変化に相対することとなり、思い描いていた運動の実現が困難となりました。そのような情勢の中でも、財務審査特別委員会は明確な判断基準のもと、公益法人として社会からの信用に答える財務運営を実現すると共に、運動の歩みを止めることのないよう、ルールに縛られることなく、効果的な運動実現のため柔軟に対応し、各委員会と共に運動を推し進めることが出来ました。また、多くの変化に相対することで、何事にも柔軟に対応できる変化に強いリーダーの育成を実現できました。公正な審査のもとでの費用対効果の高い運動の実現、そして変化に強い人財の育成機関となることで、更なる社会からの信用を得ることが出来ました。

組織マネジメント特別会議



組織マネジメント特別会議は、時代に即した定款諸規則や会議システムの検討・改訂・推進、また組織改革に関する有識者との情報共有を目的に設置されました。規則・規程変更においては明文化されていなかった理事長予備選挙、理事選挙の電子投票を明文化を行いました。また、当初より全会議を基本的にwebにて行い効果検証を行い、委員会・会議体の事例とすることを予定していましたが、コロナウイルスの影響により、各委員会web会議が導入されました。有識者との意見交換については東京都医師会と連携を行い、物資の寄付や東京都医師会会長と理事長との対談を設え、東京青年会議所における運営指針と運動の方向性の検討を行いました。



「大江戸花火2020」では、様々なイベント中止、青年会議所運動の自粛、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の延期を受け、実行委員会を組織し、東京都・東京商工会議所・東京青年会議所後援のもと築地市場跡地にて1800発の花火の打ち上げを行いました。無観客開催のため、TOKYO MX アプリ「エムキャス」でのライブ配信とアーカイブ視聴としました。また、近隣の小学校へはDVDの配付を行いました。無観客ではありましたが、許可申請や安全管理上、関係各庁・地域団体・病院との調整が必要であり、また多くの協力企業のもと開催が可能となりました。実施後は、多くの反響をいただきました。

スタートアップアカデミー特別委員会



東京青年会議所の果たす目的や社会貢献活動とは何か。何故私達の団体が存在しているのか。何故仲間を増やしていかなければならないのか。何故自己成長しなくてはならないのか。他の異業種交流会とは違う存在なのは何故なのか。

こういった疑問をもっている入会2年未満のメンバーに向け、課題解決方法の道筋を立たせ、少しでも不安を払拭し期待を持つことで、仕事・プライベートがある中、非常に限られた時間の中で、自ら能動的な行動を起こし、青年会議所という団体の存在意義を共感する環境を構築しました。

事業紹介

スタートアップアカデミーは会員研修の一役を担う委員会であるため、各月委員会においては、東京青年会議所の活動に対してメンバーが抱えている疑問に答えられるような研修を行いました。そして、「自律」した変化に強い人材の重要性を理解し、活躍出来る土壌を構築するために、新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言が明けた最初の例会として、YouTubeやFacebookによるリアル配信、6月例会～「自律」した人材とは何か?改めて考える体・技・心～を開催しました。

研修プログラムとしては、年間4回にわたる勉強会を行いました。2月には、

各委員会が行う社会課題解決を行う為の事業構築セミナー、5月には新型コロナウイルス感染症感染拡大し緊急事態宣言中にWEBによる発信の仕組みや運動展開とWEBに関するリテラシーセミナー、10月には歴代理事長による今後青年会議所を支えるメンバーに対して知識、経験、考え方を伝えるセミナー、そして11月には、6月例会のテーマである「自律」した変化に強いリーダーとなるための土壌を構築するための識学セミナーを行ってきました。このように、年間を通じて、メンバーが一人一人が能動的に行動を起こし、青年会議所という存在意義を共感する場を設けました。

中長期ビジョン策定特別会議



JCI東京の「中長期ビジョン」は、2007年の改訂を最後に、その時々
の社会に適合させる作業から取り残され、特に、複雑さを極める近年の社
会状況（VUCA）においては、運動を散漫にさせる大きな要因となってお
りました。本年、中長期ビジョン策定特別会議は、この反省を踏まえ、多
くのメンバーと討議し意見集約をしながら、13年ぶりに中長期ビジョ
ンを策定致しました。また、メンバーへの浸透を高めるべく、過去の形式
から脱却し、コンセプト動画や冊子、理解度クイズを作成する等、対内・対
外に向けて発信、共感されやすくするための工夫を凝らしています。この
中長期ビジョンが、今後の運動の羅針盤となり、JCI東京の運動に一体感
を持たせ、力強く支援する存在となることを心から願います。



本年策定した中長期ビジョンは「幸福」をコンセプトに据えていることから、幸福学
の研究者である前野隆司教授を講師としてお招きし、幸福のメカニズムや目指すべき
定常化社会と幸福との関係を解説いただき、その動画を9月例会よりも前に
YouTube 配信（全4回）することで、メンバーへの理解度を深める試みを行いました。
そして、中長期ビジョン策定特別会議が主管した9月例会（9月5日（土）開催）では、
青山社中の朝比奈一郎氏、THE VISION の著者・江上隆夫氏を講師としてお招きし、
本年度策定した中長期ビジョンを YouTube 配信にて発表すると共に、講師それぞれ
から講評をいただき、ビジョン実現に向けた実践的な取組等についての意見交換を行
いました。また、コロナ禍で3月例会より中止されていたリアル会場（秋葉原
UDX）も同時に設置し、同所に関係団体をお招きして、JCI東京が取り組む6政策
毎にグループディスカッションを行い、中長期ビジョン実現に向けた連携・協同関係
の構築を目指しました。

ブランディング特別委員会



ブランディング特別委員会では、新型コロナウイルス感染拡大により JC 運動の変化
に合わせて、運動発信の在り方に関しても変化をしていきました。Youtube でのオ
ンライン例会の配信や動画編集、SNS を積極的に駆使して、多くの市民に JC 運動
を発信してまいりました。

同時に初のキー局での冠番組放送など、新しい事にもチャレンジし、多くの市民に社
会課題と JC 運動を発信していきました。このノウハウを次年度に引継ぎ、さらなる
JCI東京のブランド化を行ってまいります。

会務・政策委員会報告

経済政策委員会



都内の企業の約99%は中小企業です。中小企業の多くは、グローバル化やICT技術の進展に伴い、第4次産業革命ともいわれる産業構造の変化に直面しており、イノベーションの必要性を感じておりますが、経営戦略、人材確保、資金調達等の問題が障害となり、イノベーションの創出に向けた活動に取り組めていません。経済政策委員会は、人材、物質、資金、情報、技術、社会等を結び付けて、中小企業によるイノベーションの創出を後押ししました。



2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、参加者を会場に集めて行うワークショップ形式での事業の開催が困難になりました。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、中小企業にとっては、いかにして事業を継続していくかが、その存続に係る喫緊の重要課題として認識されるに至りました。経済政策委員会では、2020年3月に、中小企業が新型コロナウイルスの脅威に打ち勝ち、事業継続の道筋を見つけられるようにするために、オンラインでの緊急会議を開催し、経営者間での情報共有を通じて、中小企業が事業継続の道筋を見つけるサポートを行いました。また、2020年7月には、新型コロナウイルスの影響により廃業する中小企業の増加が確実視される状況に至ったことから、経済的・文化的喪失を最小限にするために、第三者への事業承継について多くの中小企業の経営者や士業に知ってもらい、withコロナにおける中小企業を支援する事業を行いました。

政治行政政策委員会



本年政治行政政策委員会では3つの事業をおこないました。政策で候補者を選べる討論会を目指し、東京都知事選挙公開討論会では、告示後でのネット討論会を実施しました。そして、10月第一例会では、「若者と政治」をテーマとし、様々な手法で社会を変えるため第一線で活躍されている講師をお呼びし、「若者が声をもち、届け、その声が届く社会」についてお話をいただきました。最後に、本年も昨年同様、自ら考え、自ら行動し社会をよくする運動ができる人を育てる運動として、模擬請願事業を行いました。

教育政策委員会



私たち教育政策委員会は、2020年のテーマを「新時代への適応力を養う」と設定し、運動発信及び委員会運営を行って参りました。運動発信では、新時代への適応力の基礎となる「自己肯定感」の向上を目的として活動して参りました。オブザーバーとして現役中高生にも参加いただくなど、新時代にふさわしい運動発信ができました。委員会運営では、ウェブ会議ツールをいち早く取り入れ、会議の効率化に努めました。このような活動ができたのも、委員会メンバー間の強い信頼関係と、教育を通じて世界を変えようとする熱い気持ちの賜物です。今後ますます活躍が期待される教育政策委員会メンバーを、みなさまよろしくお願いたします。



2020年度教育政策委員会は、「家庭・地域・学校が連携して子どもの自己肯定感を高める環境を作る」ことを目的として活動してきました。自己肯定感とは何か、どのようにしたら子どもの自己肯定感を高めることができるか、といった点について工藤紀子講師に講演いただいた内容は、YouTubeにて公開されており、多くの方にご視聴いただいています。また、十条銀座商店街にて開催した「おかいものチャレンジ!」では、16組の子どもたちがおかいものに挑戦しました。両親に任せられたおかいものをやり遂げた子どもたちは、見違えるほど自信に満ち溢れていました。新型コロナウイルス感染症を受けて、オンラインワークショップという新しい形の事業にも挑戦しました。ウェブ会議ツールを活用することで、誰でもどこからでも気軽に事業に参加することができることがわかり、今後の事業構築の幅が広がりました。本事業を引き続き発信し、自己肯定感向上の好循環を作って参ります。

共生社会政策委員会



共生社会政策委員会では、障害者の就業継続を支援するB型事業所の存在及びその活用方法や有益性の認知拡大、並びに同事業所への業務委託数の向上を目的として、「3月例会～共生社会の実現を目指して～」を主管委員会として設けるとともに、推進事業として『共生社会を目指して～スペシャルワークスマッチング～』を実施致しました。2020年は新型コロナウイルスの影響により



様々な困難もありましたが、3月例会については東京青年会議所史上初のWEB例会として開催致しました。推進事業についてもWEB会議システムを駆使しながら時にはB型事業所にも足を運ぶ等して、企業とB型事業所とのマッチング成立のお手伝いをさせて頂きました。

国際政策委員会



「国際政策」に関する運動を展開するとともに、海外メンバーや国際シニアとの交流の機会を作ってきました。「グローバル人材の育成」の仕組みを作る国際政策推進運動、世界会議の機会とあわせて行う11月例会を担当しました。また、JCI日本JCI連携委員会と協力し、JCIマニラなど来日した海外メンバーのアテンド・交流や、アジア太平洋地域の各国首都のJCIとのミーティングをオンライン APICC として実施しました。コロナ禍によって、海外JCIメンバーとの交流の機会が限られる中でも世界会議中に、オンラインの交流企画を実施するなどしました。日中友好の会のシニアに協力いただき、JCI東京における日中の歴史やその運動・活動を学ぶ勉強会も開催しました。



「グローバル人材の育成」との理事長所信に基づき、海外・外国人に苦手意識を持つ「日本人大学生」をターゲットとして、大学生と留学生とが交流を超えた「協働」をする機会を提供するプログラム作りを行いました。国際交流に興味がない学生に参加してもらうため、「デザイン思考」という課題解決のマインドセットをグループワークで学び、実践するプログラムを、アイセック・ジャパンなどの学生と協力して行い、のべ50人以上の学生、アメリカ、インド、ブータン、インドネシア、マリ共和国など多数の国の留学生が参加しました。11月例会では、「アサーション」という自己主張のスキルやマインドを学ぶ例会を Zoom ウェビナーを利用して実施しました。緊急事態宣言中には、家で過ごす子どもにも有意義な時間を提供し、同時に医療従事者などへの応援メッセージを作る「ありがとうのぬりえ」プロジェクトを国内外の作家の協力の下行いました。

財務運営委員会



財務運営委員会は企業との賛助契約や賛助企業様へのフォローを主な役割とした委員会です。今年度の財務運営委員会は、ただ賛助企業の営業補助をするだけでなく、明るい豊かな社会を創るパートナーとして賛助企業とタイアップした活動を行い、発信することで企業とJCI東京の関係性を向上させ、社会の認知度を高めることを意識した活動を行ってまいりました。

また、今年度は企業との関係性の向上だけではなく、ミロク情報サービス様、アメリカン・エクスプレス様、織学様、マイナビ様、NN 生命保険様の計5社との新規契約を結ぶことが出来ました。



10月第二例会「企業×JCI東京～繋げて起こせよムーブメント～では、「企業の社会活動」をテーマに企業が社会活動を行う意義と連携して行う社会活動について考えるために例会として財務運営委員会が初めて主管した例会です。当日は渋谷ストリームホールとライブ配信のハイブリッド形式で行いました。第1部では留目真伸氏(SUNDRER)に講演いただき、社会活動を行う意義と連携した取り組みについて考えるきっかけを作りました。第2部では実際にGoogle、大塚製薬とJCI東京が連携した取り組みを行い、その様子や成果について映像に収めて発表しました。第3部では大川哲郎氏(大川印刷)、東浦亮典氏(東急)、石川泰弘氏(大塚製薬)の3名のクロストークから連携した社会活動へのヒントについて学びました。また、賛助企業の紹介動画、次年度政策室のPR動画を流すことで企業とJCI東京の関係性の向上に繋がりました。

わんぱく相撲委員会



わんぱく相撲は、子どもたちにとって相撲を通じて心身を鍛え、礼節や思いやりを学ぶための場であるとともに、JC I 東京の財産であり、代名詞的な事業となっております。わんぱく相撲委員会では、子どもたちの夢の舞台、成長の機会のある場として、大会をより良い形で開催を行なう一方で、大会運営の方法、関係団体、協賛企業、各 LOM との関係の有り方については時代の変化に合わせて将来性を模索し、多くの議論を重ねて行動してまいりました。わんぱく相撲を通して多くのメンバーや入会候補者が主体的に青年会議所活動に参画することとなり、聡明な青年らしいビジョンを描き、変化に強い人財へと変わり新時代を切り開く東京を創造します。



2020年は新型コロナウイルスの影響により、全国各地の地区大会・ブロック大会が中止となり、全国大会も開催に至りませんでした。当委員会で担うわんぱく相撲全国大会実行委員会の役割として、全国各地の LOM へ2月の時点でいち早くわんぱく相撲におけるコロナ対策ガイドラインの提示を行い、4月初旬には地区大会中止要請を展開しました。これにより、200を超える各地区大会での混乱を収束させることができました。

全国大会も中止となりましたが、大会運営について関係団体と協議のうえ、主催団体の変更を行い、今後の実行委員会の方針も策定しました。

わんぱく相撲の年間スケジュールやわんぱく相撲委員会の活動全体を引き継ぎ資料として作成し、例年の課題である情報共有に役立てました。

拡大支援委員会



会員拡大は JC の長い歴史の上でも途切れることなく行ってきた運動です。それは、なぜか。私たち JC が行う活動や想いに共感した「仲間」を増やす事により地域に東京に、ひいては日本中に大きなインパクトを起こすためです。私たち拡大支援委員会は2020年度、「共感者・賛同者を増やす！」をモットーに活動しました。コロナウイルスという未曾有の中、思うように会員拡大活動ができない日々が続きましたが、それでも「このような時だから出来ること」を探求し、実施し、検証してまいりました。その結果多くの本物の「仲間」が入会してくれました。1年間、私たちの想いに、活動に賛同してくれご協力いただいた皆様、心より感謝申し上げます。

渉外委員会



渉外委員会は各種諸大会や、外部団体との連携をスムーズに行うため、積極的な情報収集や交渉を行います。各種諸大会では、東京 JC キャビネットが円滑にスケジュールを進めることができるよう、予定表を作成し、アテンドを行います。

また、外部団体との関係構築を能動的に行う窓口としての役割を果たし、積極的に外部団体とコミュニケーションを取っております。

東京 JC 内での地区委員会との交流をさらに深めるためにも、理事長と各地区委員会を回り、地区委員会メンバーとも積極的にコミュニケーションを図ります。

JCI・日本JC連携委員会



2020年度は、JCI・日本JC連携委員会の担当は大きく4つあります。まず、国際渉外担当です。現在東京青年会議所は、6カ国のシスターロムがあり、新年賀詞交換会の招待・訪問などの海外との連絡窓口になっております。次にAIPCC（アジア太平洋国際都市会議）というアジア21カ国の首都ロムが議論する会議の参加があります。3つ目に、JCIマニラとのSMBP（スモークマウンテンプロジェクト）がありました。本年度は中止になりました。最後に、ASPAC アワード、世界会議アワード、ジャパンアワードがありました。



2020年度は「一人でも多くのメンバーに国際の魅力を伝える」のテーマのもと、海外メンバーとの交流や学ぶキッカケづくりに力を入れて活動して参りました。具体的には、東京青年会議所や日本青年会議所などの海外関連事業がある際、Facebookの現役ページに投稿することで、多くのメンバーに参加して頂くことができました。次に今年初めて行う姉妹ロムのJCIマニラ主催のオンラインチャリティーコンサートがあり、東京メンバーから多くの協賛金を頂き現地の医療機関に寄付しました。次にアワードがあります。ASPACアワードでは、板橋区委員会の【先生ありがとう】が受賞、世界会議では2020特別委員会の【万国フェス】がノミネートされました。最後に、今年国際の窓口として活動させていただき、オンラインを使用した新しい可能性を発見することができ、今後の活動に活かすことができると確信が持てました。

総務委員会



2020年度の総務委員会は例年の運営に加え、新型コロナウイルスの影響により各諸会議等がWEB開催およびハイブリッド開催となったため開催方法を柔軟に変更して対応し、総会や理事会等のWEBでの設えへの取り組みや新入会者に対する入会審査もWEB審査を導入し、社会情勢の変化に対応して行っていました。また、例年行っている各種大会が中止や延期となったことにより、会員の登録方法の変更等も時代に即した対応も行っていました。本年の新たな取り組みを踏まえ、2021年度以降に関しても今までの運営方法に加え活かしていけるようにしてまいります。

例会運営委員会



2020年度例会運営委員会では、例会を担当する主管委員会の第一の賛同者となり、対外・対内に発信する例会をより良くするという観点から行動を続けてまいりました。新型コロナウイルス感染症の蔓延という状況により、多くの例会が計画していたものから変更を余儀なくされる中、新たな挑戦や発信手法を続け、どのような状況であったとしても、明るい豊かな社会の実現に向けて、より良い例会作りに全力を注ぎました。

JCI 日本諸会議・大会報告

京都会議

2020年1月16日～19日開催。

日本青年会議所の1年のスタート、全国各地の会員会議所メンバーが集う京都会議。2020年度のテーマは「アップデート」でした。本年度は組織、社会、国家、国際という4つのキーワードにフォーカスしたフォーラムが開催されました。

また、2019年度第58回全国大会富山大会が台風19号の影響にて一部プログラムの中止・延期により、京都会議にて行われた AWARDS JAPAN 2019 にて【最優秀 NOM フラッグシップモデル賞】を受賞いたしました。



金沢会議

2020年2月21日～23日まで石川県金沢市で金沢会議が開催されました。金沢会議は、2015年に世界会議金沢大会が開催された際に「SDGsを推進するため」採択された金沢宣言をもとに以後、毎年金沢の地で開催されています。

ラストイヤーとなる本年度のテーマは Global Goals in Action～NO EARTH NO LIFE～。JCI会頭イタイ氏からは「JCIはSDGsに対して重要な役割を担う組織である。これからやるべきことはSDGsにインパクトを与えるアクションを起こすことである」と力強く語りました。



サマーコンファレンス

新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、サマーコンファレンス2020は中止となりました。

東京ブロック大会

新型コロナウイルス感染症の拡大に鑑み、東京都及び、調布市の対策方針を踏まえまして、2020年5月31日（日）に調布市にて開催を予定しておりましたが、「第49回東京ブロック大会 調布大会」は中止となりました。

全国大会

新型コロナウイルス感染症の影響により2020年度の全国大会は「WEBでの開催」となりました。

大会式典・式典の部では、石田会頭による今年度新型コロナウイルスの影響で開催できなかった数々の事業や、これから我々がしなければならぬこと、未来への想いを述べられました。WEBを通して15,000名を超えるメンバーが大会に参加いたしました。



関東地区大会

2020年10月3日に第68回関東地区大会 相模原大会が YouTube チャンネルでの配信という形で開催されました。

大会テーマは「Believe in CONNECT ～つながりや絆を信じて、地域を牽引していく人財溢れる首都圏を創造する～」。これまでのつながりを活かし絆という助け合いの心を信じて、時代の変化に対応していく術を学び、地域を牽引していく人財が溢れる首都圏を創造していくという信念のもと、多くのフォーラムが配信されました。



J C I 諸会議・大会報告



APICC (アジア太平洋国際都市会議)

APICC は Asia Pacific International Cities Conference の略で、アジア各国の首都 LOM が集まり、各国の取組みと今後の展開について発表する会議です。

2020年は新型コロナウイルス感染拡大を受け、ZOOM での開催となりました。各国の新型コロナウイルス感染症に対する取組みを共有いたしました。

世界会議

2020年JCI世界会議横浜大会、新型コロナウイルス感染症の状況を慎重に見極めオンラインをベースとしつつ、一部のプログラムを現地開催にて行うハイブリッド形式となりました。JAPAN FORUM CLOSING では内閣総理大臣菅義偉氏にご登壇いただき、コロナとの共生社会において、世界における日本の立ち位置とレジリエンスある国家をどう構築していくかに関して講演、対談を行いました。JCI日本と環境省とのSDGs推進に向けたパートナー宣言を発信し、真の持続可能な社会に向けて共に行動に起こす起点となりました。





公益社団法人 東京青年会議所 事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-14-3 青年会議所会館 2F

TEL:03-5276-6161 / FAX:03-5276-6160 / E-mail : office@tokyo-jc.or.jp

<https://tokyo-jc.or.jp/>